

おれんじ通信

11

知って支える認知症



今回のおれんじ通信は、ヘルパー活動での心温まるお話を紹介します。

寄り添い、支える⑤ ヘルパー活動の中で

ある利用者さん宅への訪問。その日は積雪が観測されたとても寒い日でした。その方は、寡黙で時間には厳格な方だったので、私は慣れない雪道で焦りながら向かいました。

やっとの思いで到着し、声をかけ、お部屋に行くと、その方は上着を脱いで薄いシャツでおられました。その方には軽度の認知障害があり、季節にそぐわない衣服を

着ることがあったので、私が「風邪をひきますよ、どうされましたか？」と尋ねると、「こんな寒い日に来てもらって申し訳ない」と口数少なく答えてくださいました。そこで私は初めて気がつきました。そのときは、季節にそぐわない衣服を着ていたわけではなく、私のために玄関先まで暖かくして待っていてくれたのだと。今でも冬になるとその方のことを思い出します。

◇ ◇

次回は「寄り添い、支える⑥」です。なお、おれんじ通信への意見をお寄せください。

☎地域包括ケア推進課 06(4309)3013、FAX06(4309)3848